

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

教科	技術・家庭		分野	技術	学年	第3学年	①
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容			単元のまとまりの評価規準		
4編3章 計測・制御のプログラミングによる問題解決	1～14	①計測・制御システムとは何だろう ・身の回りにある計測・制御システムを調べることができる。 ・計測・制御システムにおけるプログラムの役割を調べることができる。 ・計測・制御システムの基本的な構成と情報の流れを調べることができる。 ②問題を発見し、課題を設定しよう ・計測・制御のプログラミングによって解決できる問題を見つけることができる。 ・発見した問題を解決するための課題を設定することができる。 ③計測・制御システムを構想しよう ・問題を解決するための計測・制御システムに必要な情報を収集し、解決策を具体化することができる。 ・センサと仕事を行う部分の選択 ・計測・制御システムの構成の整理 ・情報処理の手順の整理 ④計測・制御システムのプログラムを制作しよう ・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグを行うことができる。 ・エネルギー変換の技術による問題解決の学習を生かして、自動化・システム化が実現するプログラムを制作することができる。 ⑤問題解決の評価、改善・修正 ・計測・制御のプログラミングによる問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考えることができる。			・計測・制御システムの基本的な構成を理解している。(知) ・計測・制御システムにおけるプログラムの役割を理解している。(知) ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思) ・入出力されるデータの流れを基に、計測・制御システムを構想する力を身に付けている。(思) ・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技能を身に付けている。(知) ・計測・制御システムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法について考えている。(思) ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。(態)		

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

教科	技術・家庭	分野	技術	学年	第3学年	②
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容		単元のまとまりの評価規準		
4編4章 社会の発展と情報の技術	15～16	①情報の技術の最適化 ・自分の問題解決における最適化の場面を振り返り, 社会の問題解決における最適化と比較することができる。 ・社会からの要求 ・安全性 ・環境への負荷 ・経済性 ・情報の技術のプラス面, マイナス面について考え, これからどのように技術の最適化を図っていくとよいかをまとめることができる。 ②これからの情報の技術 ・持続可能な社会の構築のために, これからの情報の技術について考えることができる。		・情報の技術の概念について理解している。(知) ・情報の技術の最適化について考えている。(思)		
技術分野の学習を終えて	17～17.5	学んだことを社会に生かす ・3学年間の技術の学習内容を振り返り, これから技術とどのように関わっていきたいか考えをまとめることができる。 ・地球環境や将来の世代のための技術について考え, 10年後, 50年後の未来を予測することができる。		・これからの情報の技術について考えている。(思) ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて, 情報の技術を工夫し創造しようとしている。(態)		
				・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて, 材料と加工, 生物育成, エネルギー変換, 情報の技術を工夫し創造しようとしている。(態)		